



校区の防災連絡会がありました

6月22日(土)に、帯山西小の体育館で会議が行われました。年数を経て、熊本地震の記憶が徐々に風化し、世代も変わっていく中で、地域が自助・共助の防災意識や避難所である学校としても地域の防災力の向上に連携したいと考えています。11月3日に今年も防災訓練を予定されています。お子さんと一緒に参加されてみてください。令和6年の熊本市防災計画でも、防災対応力の強化や過去の災害の課題と教訓が変更点として挙げられています。熊本市は、気象庁が今年も年間降水量の4割が梅雨の時期に集中していると予想し、気温が高く降水量も平年並みか多いと予想しています。7月4日の引き渡し訓練も行き帰りに、危険個所の話し合いなどをしながら安全意識を高められる時間になればと思います。



熊本市青少年善行表彰推薦について

熊本市では、模範となる善行を広報し、多くの青少年に善行の「輪」が広がることを願い、善行をした青少年を表彰しています。善行の基準は、「一時的善行」として、○他人の生命・財産を守った行為、「継続的善行」として、○身体の不自由な人を援助・激励 ○自然保護や文化財保護に尽力※ともに国・県又は市の指定等を受けているものを対象とする ○道路・公園等における清掃奉仕活動を現在も継続中のもので、3年以上継続したものだそうです。そのための通知文も学校にきていますが、そもそも善い行いをしている子供たちは、その行為を自ら発信していることは無いと思いますので、ご存知の方は、右のQRコードからその子供の名前や行為の内容を教えてください。帯西の朝のボランティア活動も十分善行ではありますが、「自分や家族、所属団体のためや、学校行事の一部としてではなく、第三者や地域社会に奉仕するもの」とありますので、そこは該当しないと判断しました。推薦があれば、基準と照らして学校で取りまとめ熊本市に推薦しようと思っています。



日本の海は凄いぞ!

以前から、日本には資源が乏しく、資源は海外からの輸入に頼っていることを社会科などで学んできました。しかし、最新の日本財団と東京大の合同調査では、南鳥島(東京都小笠原村)周辺の排他的経済水域(EEZ)内の水深五千数百メートルの海底にコバルト、ニッケルなどのレアメタルを豊富に含む海底鉱物資源「マンガンジュール」(マンガン団塊)が大量にあるのを発見したそうです。なんと、今回の調査で見つかったコバルトとニッケルは国内消費量のそれぞれ75年分、11年分に相当するといえます。これは、日本のこれからの産業の在り方にもよい影響を与えていると思います。

